

周防大島町 議会だより

2018・7

第54号

発行／周防大島町議会

〒742-2192

周防大島町大字小松 126-2

TEL:0820-74-1003(議会事務局)

編集／議会広報編集特別委員会

印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 6月定例会概要ほか 2P
- 一般質問(5人登壇) 3～7P
- 防災コーナー 8P
- 議会活動報告 9～12P
- 議員派遣・編集後記ほか 12P



平成30年6月18日、大島看護専門学校で20回生の戴帽式が行われ、山本幸子学校長から、2年生29名一人ひとりに、ナースキャップ(男子はポケットチーフ)が与えられました。

学生たちは、ナイチンゲール像から灯りを受け取り、新たな誓いのもと、これから病院での本格的な実習が始まります。

6月定例会概要

平成30年第2回定例会を6月19日から26日までの8日間
の会期で開催しました。

初日には椎木町長より、「米軍
岩国基地への空母艦載機移駐に
ついて、今日までの経過報告」、
「総合支所が実施している小規
模施設整備事業の補助対象枠の
拡大」、「平成29年度の各会計の
決算見込み」、以上3件の行政
報告があり、その後に各議案の
説明と質疑が行われました。

はじめに平成29年度一般会計
のほか、簡易水道事業・下水道
事業・農業集落排水事業・漁業
集落排水事業特別会計予算の繰
越額にかかる報告と、和解及び
損害賠償の額を定めることにつ
いての専決処分報告があり、
次に平成30年度一般会計補正予
算（第1号）については、既定
の予算総額に718万1千円を
追加し、総額を137億2、

718万1千円とする。

また、条例の一部改正が5件
（うち専決処分2件）、動産の買い
入れについては、塵芥車及びス
クールバス白木線1号車の購
入、これら8議案が上程され、
専決処分された条例の一部改正
及び動産の買い入れを採決しま
した。

25日の一般質問では5名の議
員が登壇し、「水道断水事故の
原因究明、図書館システム、岩
国基地米軍機騒音の実態把握、
指定管理者の撤退に伴う指定管
理料の取扱い、町が運営する団
体への補助金のあり方」「町民
の健康づくり、指名競争入札」
「防犯カメラの設置、電力自由
化、バス停待合所の設置」「米
軍機による騒音被害とその対

策、国保（税）制度」「米軍岩
国基地艦載機移駐完了後の騒音
増大」について多くの議論が交
わされました。

最終日の26日は、一般会計補
正予算（第1号）及び条例の一
部改正3件を討論・採決した後、
追加として久賀・大島処理区（三
浦）管路施設整備工事の工事請
負変更契約の締結にかかる専決
処分の報告があり、次に追加議
案として上程された一般会計補
正予算（第2号）については、既
定の予算総額に2,053万8千
円を追加し、総額を137億4、
771万9千円とすることと
し、本定例会に上程されたすべ
ての議案は、原案のとおり可決
のうえ閉会となりました。

【騒音測定結果】

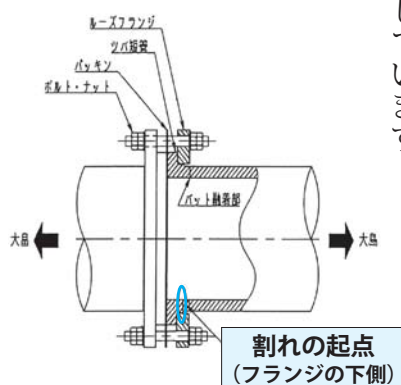
中国四国防衛局のホームページ、①住宅防音関連、②航空機
騒音状況、③岩国飛行場周辺の
航空機騒音状況の順にアクセス
していくと、各測定場所の測定
値や騒音発生回数をご覧になれ
ます。

『全員協議会』

初日の本会議終了後に全員
協議会を開催し、執行部から
「柳井地域広域水道企業団送水
管破断事故の原因等」「大島自
動車センターの収支決算」「サ
ン・スポーツランド片添等の
指定管理」についての報告が
ありました。

なお、広域水道企業団の報告
書では、「送水管破断の原因は、
振動による継ぎ手部分の疲労破
壊と推定される」となっており、
今後は、定期点検の回数増、修
理用資材の確保、長寿命化に向
けた調査を実施し、さらには、
ポリエチレン管の健全性に関す
る検証を行っていく必要がある
としています。

継ぎ手部詳細図



一般質問

こころが

知りたい！
聞きたい！



田中豊文 議員

送水管破断事故の 原因究明について

問 今年1月の大島大橋送水管破断事故についての報告は全く納得のいかない内容であり、再発防止や今後の対策を行うために、原因究明をうやむやな形で終わらせることはできない。設計たわみ量が許容値をクリアしていない事実も明らかになり、設計・施工上の原因も否定できない状況にあつて、原因調査をメーカーに任せず、公平公正な検証のため、町として総合的検証組織を立ち上げる必要があると考えるが、町長の認識を問う。

答 調査報告書についてはこれで結論という訳ではなく、引き続き調査と原因究明を柳井広域

水道企業団に求めていくと共に、独自の現地調査なども検討したい。

図書館システムについて

問 図書館システムについて、入札における予定価格の積算方法、更新されたシステムの主な改良点について問う。また、管理者情報やプライバシーポリシーが掲載されておらず速やかな改善を求める。

答 既存の業者からの見積りを徴収して予定価格の参考とし、ハード面ではシステム全体を更新し、ソフト面では検索機能を



▲ 図書館システム端末

強化した。

管理者情報等の掲載については、今後、修正対応していく。

米軍機騒音の実態把握について

問 3月議会一般質問での「騒音測定器の設置については国へ要望していく」という答弁について、その後の要望の実態について問う。また、艦載機移駐に伴い、明らかに騒音に対する苦情が多くなっており、町民の安心安全を守るために主体的な情報収集が必要と考えるが、艦載機移駐を容認した町長の見解を問う。

答 中国四国防衛局への口頭要望や山口県基地関係市町連絡協議会からの要望項目において要望している。騒音の実態把握を国に求め、騒音に対する町民の負担・不安の解消に取り組む。

指定管理料の取扱いについて

問 指定管理者の撤退に伴い発生した指定管理料の剰余金は元指定管理者である団体に帰属するという規定はなく、町に返還させるべきだと考えるが、平成

29年度末で撤退した陸奥記念館等及び久賀歴史民俗資料館等の各指定管理者に関する剰余財産の取り扱いについて問う。

答 陸奥記念館等において227万円、久賀歴史民俗資料館等で91万円の剰余金が発生している。指定管理において発生した収入は指定管理者のものであるという協定に基づき、撤退した団体のものとするができる

補助金のあり方について

問 町が運営する民間団体への補助金のあり方について、補助金の額は誰がどのような基準により積算し誰が補助金の額を決定するのか、補助金による成果の検証は誰がどのような方法で行い、その検証結果がどのように事業や次年度以降の補助金に反映されているのかを問う。

答 十分な審査・検査により補助金を確定している。事業の見直し・廃止を含め社会情勢の変化や財政健全化の観点からも創意工夫による自立促進への助言・指導を行っている。

町政を問う！



吉村 忍 議員

町民の「健康づくり」について

問 町民の健康寿命を延伸するための「健康づくり」の施策として、禁煙及び減煙への取り組みを実施すべきと考えるが、見解を問う。

答 指摘のとおり禁煙・減煙への取り組みは、町民の健康寿命の延伸を図るうえで重要な課題の一つであると認識をしている。

喫煙防止や禁煙支援を柱として、たばこ対策の一層の充実を図り、町民の健康づくりを総合的に推進したいと考えている。

問 子どもや未成年は言うまでもなく、成人の非喫煙者を「望まない受動喫煙」から守るため、まずは、町内公共施設において、受動喫煙を防止するための措置

を講ずるべきと考えるが、見解を問う。

答 県のガイドラインに沿って、本町の公共施設においては、その基準を概ね満たしているものと認識している。今後は、健康増進法の改正や、基準等の見直しが行われた場合には、望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙に関する知識の普及や受動喫煙の防止に必要な措置を推進したいと考えている。

要望 各庁舎には、非喫煙者が「望まない受動喫煙」を防止することが出来ない場所に、喫煙所とは明記していないが、吸い殻入れを設置し、喫煙する場所がある。

今後、喫煙者の権利を守りつつ、非喫煙者の不満の解消に向けた環境整備を希望する。



指名競争入札について

問 相次いで発生している「指名競争入札の取消し」について、入札の取消しが発生した工事名、取消し理由、経過及び原因、さらに再発防止策を問う。

答 土木建設工事設計書に係る積算誤りに起因する入札取消しが相次いで発生し、入札関係者のみならず、再度入札の実施などによる公共工事の遅延などにより、町民の皆様にも迷惑をおかけしたことに對し、深くお詫び申し上げる。

平成29年度の建設工事の入札件数は87件で、その内違算による入札取消しは6件。平成30年度は5月31日現在、2件発生している。

理由については、応札した業者から積算内容についての申し立てにより調査した結果、積算に誤り（違算）が認められたためである。

違算の原因は、「積算内容のチェック不足」「積算内容の理解不足」「思い込みによるチェック不足」である。

積算ミス等防止に向けたこれまでの取り組みは、研修会資料による積算担当者への周知、また、違算が発生した際、事案について他の事業課に報告し注意喚起に努めているが、これまでの実態を踏まえ、チェックシートの活用やダブルチェックの徹底について見直したいと思っている。

問 入札取消しが行われた事実については、入札参加者への簡素な通知のみで、公表されていない。再発防止策の一つとしてホームページ等で公表すべきと考えるが、見解を問う。

答 現在、違算等により取消しがあつた場合、応札のあつた指名業者に対し通知を行っている。今後も同様の対応を考えている。いずれにしても、違算等による取消しは指名業者に迷惑をかけることであり、再発防止には最善を尽くしたい。

要望 適切な人員配置や専門的な知識を有する技術者の採用も必要ではないか。また、これまでに使命感・責任感を持ち、職業意識の向上に努め、職務遂行能力を高めて頂きたい。

町政を問う！



小田 貞利 議員

防犯カメラの設置は急務

問 町内の漁港等において、船外機やバッテリー、漁具の盗難事件が多発している。

また、独居老人の安否や外国人客の増加が見込まれる中、事件事故の不安は高まってくる。

全町に防犯カメラの設置が必要であると感じているが、何か対応策は考えているのか。

答 防犯カメラの設置は、被害の未然防止や犯罪発生時の確な対応に有効であるとされており、地域住民等の安心感を高め、犯罪抑止に大きな効果があるなど、非常に有効な設備であるとして認識しているが、現状では全ての港に設置することは難しい。防犯カメラの設置は、様々な抑止力につながる反面、監視さ

れていると感じたり、プライバシー保護の問題もあるので、関係機関との調整を踏まえ慎重に進めていく必要がある、具体的な内容についても、どのような補助事業が防犯対策として、より効果的かつ効果的であるかを検討するとともに、財政負担も考慮しながら行っていくことが重要である。

今後は、防犯カメラの設置に対する支援策等を含め、先進地や他市町の状況も参考にしながら研究してまいりたい。

電力の自由化で

経費削減はできたか

問 電力の完全自由化となり2年が過ぎた。多くの企業や自治体でも安い電力会社へ契約を変更し、経費の削減を行っている。

本町でも多額な電気料金を支払っているが、現状と今後の計画を問う。

答 現在まで、中国電力を含む各電力供給会社から提案を受けてきたが、契約変更には至っていない。経費節減のためにも、

電気料金の削減を検討する必要があると考えている。

施設の電気使用状況等に応じた契約形態に移行する方向で、先ずは病院事業局において、今年5月に見積入札や料金プランの見直し等により契約変更を行った。県内の新電力導入状況も勘案し、電気料金の削減に向け、早い段階での導入に取り組みたいと考えている。

バス停待合所の

設置を望む

問 毎年この時期になると、児童・生徒が雨の中で傘をさし、バスを待っている姿を目にする。学校の統合が進む中、通学時の負担は極力抑えなくてはならない。

学校前のバス停や集落のメインとなるバス停には、風雨をしのげる待合所の設置を望む。

答 バス停待合所の設置は、「バス待合所設置事業補助金交付要綱」にもとづき、待合所の建設に要する経費または補助金額の上限32万円のうち、いずれかの

少ない額で地域の要望に答えたい。

児童・生徒が帰宅時に利用するスクールバスが、住民の方との混乗等の理由により、校内に乗り入れることができず、最寄りのバス停を利用している場合は、当該バス停の待合所設置について、今後検討してまいりたい。



▶ 和田地区東泊バス停待合所

町政を問う！



砂田 雅一 議員

米軍機による爆音被害について

問 艦載機の移駐が完了した4月以降、「米軍機がうるさい」「ノイローゼになりそう」「寝ているときに大きな音がすると落ちてくるのか不安になる」などの声がある。「これほどうるさくなるとは思わなかった」という声も多い。町役場への苦情電話も格段に増えている。町長はこの事態をどう思うか。

答 私も庁舎にいて相当な騒音だと思った。特に5月8日は集中的だった。一部の地域で騒音が拡大したことに大きな懸念を持っている。

問 「岩国基地ではFCLPやNLPは行わないことが確

町役場に寄せられた苦情電話の件数

4月と5月の去年と今年の比較

	去年	今年	
4月	1件	11件	
5月	1件	28件	内5月8日だけで10件

平成20年～29年までの合計と今年だけの比較

	4月	5月
平成20年～29年までの合計	16件	19件
今年だけの件数	11件	28件

用語の解説

FCLPとは

空母にジェット機等が着艦するための訓練を陸上で行うこと。低空で飛びながら甲板に見立てた滑走路にタッチしてまたすぐに離陸する、タッチアンドゴーも含まれる。

NLPとは

夜間に行われる着艦訓練。

「確認事項」とは

米軍と国・県および岩国市が1971年に締結したもの。

- ◎市街地上空を飛ばない。
- ◎夜11時以降は飛ばない。
- ◎2機以上の編隊離陸はしない。
- ◎8月13～16日は飛ばない。

など16項目ある。

主張 国保制度は相互扶助の制度ではなく、社会保障の制度。一般会計からの繰り入れをするかどうかは最終的には「市町村の判断」というのが国の立場である。



認できた」ことが容認理由の一つになっている。しかし、米軍が作っている岩国基地「航空運用マニユアル」には、それらを岩国基地でおこなうことが書かれてあると報道された。これらの訓練が、住民に多大な騒音被害をもたらす。移駐容認の根拠が崩れたのではないか。

答 「マニユアル」と「確認事項」は別のものととらえている。米軍は確認事項は守るといつている。

問 町独自の騒音測定器や飛行コースの実態を把握するための

国保(税)制度について

問 国・県は市町村に対して、一般会計から国保会計への繰り入れをやめるよう求めているが、これでは国保税がさらに上がることになる。本町はどう

監視カメラの設置を求める。また苦情電話の無料化を求める。

答 騒音測定器は国に対して自動騒音測定器を(追加で)要望している。苦情電話の無料化は今のところ予定していないが県や関係市町の取り組み状況により検討する。

う方針か。

答 今後数年間は繰り入れではなく、国保基金を使い財政運用を行う。

問 18歳未満の子どもたちにかかる国保税の人数割の減免制度を、本町で1人あたり5割の補助を行うとしたら413万円余りで可能と考える。また、低所得世帯の減免制度を求める。

答 被保険者全体で国保制度を支えるという観点から、応益割と応能割のバランスをとることが重要であると考えている。

減免をした場合、それに見合う保険税を他の個人や世帯に求めることになるため、公平性が損なわれる懸念がある。

町政を問う！



藤本 浄孝 議員

米軍岩国基地艦載機移駐完了後の騒音増大について

問 在日米軍再編による岩国基地への空母艦載機部隊の移駐が三月末に完了し、米軍機の飛行運用状況の変化が顕著になった。日常生活でも騒音の増大を懸念する声が住民からも上がっており、「これほどうるさくなる」とは「こんなはずでは」という住民意見も多い現状であり、移駐の容認に賛同した議員としても責任を感じるところである。

午後11時を過ぎる騒音や、複数機による飛行もあり、明確に町民の日常生活に影響が出ている。移駐完了後の騒音増大について現状把握と対策について早

急に方針を明確にすることにより、町民の心情的不安を緩和していく事が重要である。艦載機移駐による住民負担をより細かい地域ごとに把握し、聞き取り調査などの詳細な情報収集を行う事が必要である。3月31日の移駐完了から2か月以上が経ち、防衛局のホームページにも騒音値が公表されているが、今後の騒音対策、安全対策、監視体制についての取り組みの方針について問う。

答 特に住民の皆さんが不安に思っている航空機騒音の問題であるが、3月31日に中四国防衛局から30日に空母艦載機の移駐が全て完了したことの連絡があった。移駐完了以後、騒音発生回数と騒音レベルは上昇しているところである。特に5月8日には終日にわたり、町内での航空機騒音がうるさかったことで不安の念を抱かれたことは承知している。騒音の発生は、日々の米軍機の運用によってその都度変わり、影響を受けるため運用等を一定期間継続して見ていく必要がある。その測定結果を

踏まえて検証する必要がある。引き続き実態把握に努めて、問題があれば国に必要な対応を求める。また、騒音対策の実施に万全を期し、機体の点検などの安全対策や飛行経路に係る安全の向上を求め、可能な限り住民の方々への影響が最小限となるよう働きかける。

問 騒音による住民負担への理解を得るための交付金活用に関する情報公開や周知について伺う。『広報すおう大島』に再編交付金での事業実施が記載されているが、例えば福祉課発行の『子育てブック』などの町発行媒体にも福祉医療費一部負担金助成事業やちびっこ医療費助成、外国語活動推進の財源が再編交付金事業である事が発信されていれば、認知

度が上がって、理解が深まる手段の一つとなると考えるが情報発信の方針を問う。

答 国から交付される再編交付金についても、対象となる関係者に積極的にお知らせすることにより、理解を深める一助となるよう取り組んでいく。

再編交付金で事業を実施しました

平成19年度から「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条の規定により、在日米軍再編による住民生活の安全に及ぼす影響が増大する市町村に対し、公共施設の整備、住民生活の利便性向上や産業の振興に寄与する事業を対象に、国から再編交付金が交付されています。

周防大島町には平成29年度に1億8,431万円が交付され、次の事業を実施しました。

○防災に関する事業

- ・漁港陸間整備事業（工事：油宇地区、雨振・両源田地区）
3,400万円

○教育、スポーツおよび文化の振興に関する事業

- ・周防大島町立小中学校空調設置事業（工事：三浦小学校、油田小学校
設計：三浦小学校、東和中学校、大島中学校）
3,537万円
- ・周防大島町観光振興事業助成事業基金積立
1,896万1千円
- ・外国語活動推進事業基金積立
3,197万9千円

○福祉の増進および医療の確保に関する事業

- ・医療確保対策事業（地域医療の確保対策）
4,000万円
- ・医療確保対策事業基金積立
2,400万円



▲漁港陸間整備事業（油宇）

▲ 広報すおう大島 平成30年4月号より抜粋

防災チェック・ワンポイント

★台風の進路と雨☂

防災対策特別委員会

台風の発生が多くなる季節となりました。

まずは、右の進路予想図をご覧ください。➡

周防大島町が進路の北側（左側）にあたるため、多くの方がこの進路予想なら大きな影響がないと安堵するのではないのでしょうか。

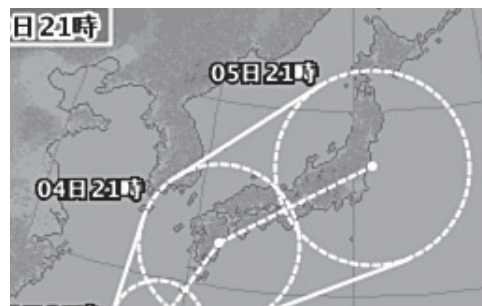
しかし、油断は禁物です！

確かに風は進路の南側（右側）に比べると幾分弱くなると予想されますが、帯状の降水帯があると、継続的に激しい雨が降る恐れがあります。

昨年9月、九州地方に上陸した台風18号は、進路の北側にあたる地域にわずか3時間で300mmを超える雨を降らせ、各地に甚大な被害をもたらしました。

台風は地震のように突然やって来るものではありません。発生した時点で天気予報で知ることができ、あらかじめ心の準備や家の周りの対策を行うこともできます。空振りを恐れず早め早めの防災行動をとりましょう。

また、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告や避難指示（緊急）が発令された場合には、あわてず速やかに避難しましょう。



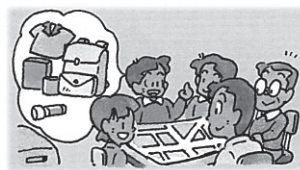
☂雨の強さと降り方

雨についての予報用語を理解し、イメージしておくことも大切です。

1時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	車の運転への影響
10 mm以上 20 mm未満	やや強い雨	ザーザーと降る	跳ね返りで足元がぬれる	制動距離が長くなる
20 mm以上 30 mm未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	ワイパーを速くしても見づらい
30 mm以上 50 mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		高速走行時、ブレーキが利かなくなる
50 mm以上 80 mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る	傘は役に立たなくなる	車の運転は危険
80 mm以上	猛烈な雨	恐怖を感じる		

風水害に備えて再確認を！

- 日頃から気象情報については、しっかり関心を持ちましょう。
- 危険箇所の確認等、周辺の状況は把握しておきましょう。
- 非常用持ち出し品の準備・点検は大丈夫ですか。
- 家庭で防災について話し合う機会を設けていますか。



避難所への移動は早めに行いましょう！ 台風接近時の外出は禁物です。

議会活動報告

議会の活動を時系列でご報告します。今回は4月16日から7月16日までの3ヶ月間の活動報告となります。

月日 【内 容】（場所・出席者・参加者）※議席順

- 4月23日 柳井地区広域市町議会議長会 定期総会（柳井市…荒川）
- // 大島郡体育協会平成29年度収支決算に係る会計監査（久保）
- 4月25日 例月現金出納検査・定期監査（尾元）
- 4月26日 周防大島町中学校長会（荒川）
- 4月27日 大島・三浦・沖浦地区合同戦没者慰霊法要
（藤本、松井、尾元、久保、荒川）
- // 平成30年度第1回周防大島町小中学校教育研究大会
（荒川）
- 5月9日 山口県町議会議長会 平成29年度事業決算監査（荒川）
- // 山口県離島振興市町議会議長会 平成29年度事業決算監査
（荒川）
- 5月11日 周防大島町地域ケア会議（荒川）
- 5月14日 柳井地域広域水道企業団 企業長来庁対応（荒川）
- 5月15日 定期監査（尾元）
- 5月16日 柳井地域広域水道企業団議会 全員協議会
（柳井市…吉田、平野）
- 5月19日 第34回 東京大島ふるさと会（東京都…藤本、尾元）

5月19日、東京都千代田区の東京グリーンパレスで、第34回東京大島ふるさと会総会・懇親会（秋葉日出人会長）が開催されました。



東京ヘレン・ケラー協会元理事長の藤元節氏によるミニ講演の後、町政報告と岡村副町長のあいさつがありました。町議会からも2名の議員が参加し親交を深め、約70名の参加者は、ふるさとを思いながら交流し「明るく・楽しく・元氣よく」という会の合言葉のとおり、楽しく、有意義なひと時となりました。

5月21日 単位老人クラブ会長・女性部長役員総会（荒川）

5月22日 周防大島町民生委員推薦会（荒川）

5月22日 イノシシ対策特別委員会行政視察

5月23日 （佐賀県・下関市…藤本、新田、吉村、平野、尾元、中本、小田）

佐賀県唐津市の面積は本町の約3.5倍あり、平野部・丘陵部・山間部に区分される農畜産業が盛んな地域であった。

イノシシによる被害の対策は、「棲み分け・防護・捕獲」の3つを基本としており、昨年度は電気牧柵器を230台、ワイ

ヤメツシュを約48kmほど設置、鳥獣被害の約8割を占めているイノシシは、猟友会（11地区の駆除班）が中心になって5,881頭を捕獲しているが、90%以上が箱わなでの捕獲であった。

嘱託職員の藤川氏からは、イノシシの生態や同氏の独創的な捕獲技術のお話があり、新たな知識を得ることができたので、今後の対策の参考にしていきたい。

2日目、みのりの丘ジビエセンタ―では、施設建設までの経緯やジビエ肉の需要と供給等について説明を受け、当日、イノシシの解体現場を視察したが、市場で求められているのは、シカ肉がメインとのことであった。



捕獲技術等を説明する藤川氏



みのりの丘ジビエセンター



唐津市役所

5月24日 東京都神津島村議会行政視察 来町対応（荒川）
5月25日 例月現金出納検査・定期監査（尾元）



津久見市役所



応急復旧された護岸（津久見市彦ノ内川）

5月28日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都：荒川、小田）
5月29日 例月現金出納検査（尾元）
6月1日 防災対策特別委員会行政視察
（2日（大分県・福岡県：藤本、吉村、砂田、松井、尾元、中本、久保）
津久見市は大分県の南東部に位置し、豊後水道に面した海岸沿いの市である。
平野部は少なく三方を山に囲まれているが、半島部の美しいリアス式海岸や島しょ部は、風光明媚な景観を構成している。また、広大な石灰岩地帯の採掘場は、独特な景観を有している。
市役所では、昨年9月17日に襲来した台風18号について、市民への対応や当日の状況、また、人家や公共施設の被害と復旧計画、そして被災者に対する様々な支援について説明を受けた。
2日目は、昨年7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた、大分県日田市および福岡県朝倉市へ向かった。

山腹のいたるところに土砂崩れ、被災したままの家屋、壊滅的被害を受けた果樹園、大量の土砂やがれき、また、本復旧が急がれる河川護岸など、激甚災害の痕跡があらこちらに見られ、24時間雨量545.5mm(朝倉市朝倉)を記録した集中豪雨と、それに伴う土砂災害の恐ろしさを改めて痛感した。



1階が土砂で埋まった家屋 (朝倉市杷木志波)



人海戦術で土砂の撤去作業 (朝倉市杷木志波)

- 6月4日 日系移民150周年記念式典(ハワイ：荒川)
- 6月9日
- 6月8日 戦艦陸奥殉難将兵慰霊祭(新山、小田)
- 6月12日 議会運営委員会
- 6月14日 久賀シニアクラブ連合会総会(新田、吉田)
- 6月15日 例月現金出納検査(尾元)
- 〃 周防大島サイクルアイランド構想推進協議会設立総会(荒川)

- 6月18日 第1回周防大島町人権教育推進委員会(久保)
- 〃 例月現金出納検査・決算審査(尾元)
- 6月19日 第2回定例会(本会議)
- 〃 全員協議会
- 6月20日 周防大島高校を支援する会定例会(久保)
- 6月22日 アロハキャンペーン2018開幕セレモニー(荒川)
- 6月22日 山口県東部高速交通体系整備促進協議会定期総会(柳井市：荒川)
- 6月23日 JA山口大島第25年度通常総代会(荒川)
- 6月25日 第2回定例会(本会議)
- 6月26日 第2回定例会(本会議)
- 〃 防災対策特別委員会
- 6月27日 例月現金出納検査・決算審査(尾元)
- 〃 議会広報編集特別委員会
- 6月28日 海開き(逗子ヶ浜、片添ヶ浜海水浴場：吉村、新山、小田)



議会広報編集特別委員会 編集作業



アロハキャンペーン2018 開幕セレモニー

6月28日 山口県離島振興市町議会議長会 研修視察(愛知県…荒川)
29日

6月29日 例月現金出納検査・決算審査(尾元)

7月1日 第14回 広島・周防大島町人会

(広島市…藤本、新田、尾元、久保、小田、荒川)

7月2日 決算審査(尾元)

〃 海開き(ビー玉海岸…新田、吉田)

7月3日 柳井地区広域消防組合 例月出納検査(柳井市…久保)

7月4日 議会広報編集特別委員会

7月5日 決算審査(尾元)

7月7日 「小さな親切」運動大島支部総会(小田)

7月9日 決算審査(尾元)

7月10日 全国市議会議長会基地協議会中国・四国部会定期総会
(松山市…荒川)

7月12日 決算審査(尾元)

Ⅱ 議員派遣 Ⅱ

◆ 柳井地区広域市町議会議員研修会

7月23日(月) アンバーサリーステージベルゼ

演題 減災・防災今やるべきこと

講師 清水国明氏

◆ 山口県町議会実務研修会

8月28日(火) 田布施町商工会館

演題 計画・予算への議会の取り組み

→政策過程への関与を深める議会へ

講師 同志社大学大学院教授 新川達郎先生

集記 編後

町内各地
で海開きが
あり、本格
的な夏の訪

れとなりました。

先般、近所の方より熱
中症についてのお話を伺
いましたが、回復に随分
時間がかかることや、
日々の体調管理や充分な
水分補給が大切であると
のことでした。

暑い日が続きますが、
健やかな毎日のために気
をつけて過ごしたい
ものです。

この度の『議会だ
より』は定例会、全
員協議会、視察研修
等につきましてご報
告致しました。

(藤本浄孝)

議会広報 編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

新山 玄雄
藤本 浄孝
新田 健介
吉村 忍
平野 和生
松井 岑雄
久保 雅己



議会広報・議事録を公開しています。議事録は各図書館にも
備えています。

周防大島町ホームページ

<http://www.town.suo-oshima.lg.jp>